令和７年度　江戸川区立上一色南小学校　学校関係者評価報告書（学校経営計画・学校関係者評価シート）

学校教育目標	・あかるく ・かしこく ・なかよく ・たくましく		目指す生徒像 目指す教師像 目指す学校像	○子ども【わくわく】！ … 子どもたちの「笑顔」があふれる楽しい学校 ○教職員【生き生き】！ … 教職員が「やりがい」をもって、はつらつと働ける学校 ○保護者・地域【安心】！ … 保護者・地域の方から「信頼・応援」していただける学校
前年度までの本校の現状	成果	・教育課題実践推進校（算数）としての取り組みを通して、自力解決や学び合いへの意識を高めることができた。 ・らんらんフェスティバルや運動に関する学校独自の様々な取組により、子どもたちの体力を向上を図ることができた。	課題	・昨年度実施の学力調査では、応用力や読解力にかかわる項目において、区の平均に未到達のものが複数あった。基礎的な学力に加え、それをもとにした応用力を養うために、自力解決と意見交流の場面を今後も意図的に設定して、一人ひとりの力を伸ばしていく。

重点	取組項目	具体的な取組内容	数値目標	達成度		「中間」 自己（学校）評価(A～D)		「中間」 学校関係者評価(A～D)		「年度末」 自己（学校）評価（A～D）		「年度末」 学校関係者評価（A～D）		次年度に向けた改善案
				９月	２月	評価	コメント	評価	コメント	評価	コメント	評価	コメント	
学力向上	○児童の学力向上及び授業力向上	昨年度の教育課題実践推進校としての研究成果を生かして、授業力向上と学力向上を図る。	学力調査において区の平均点の獲得を目指す。											
	○個別最適な学びの実現	ipadを授業に加え、朝学習などの個別学習でも活用し、個に応じたペースで学習を進める。	保護者アンケートの学力向上のための取組の工夫の肯定的評価８０％を目指す。											
	○読書科の更なる充実	司書、図書館ボランティアと連携し、効果的な図書館の活用や定期的な読み聞かせ等に取り組む。	毎学期、図書を活用した調べ学習を実施し、調査の技能を高める。											
体力向上	○体育授業の充実	系統性を重視した年間指導計画による指導を徹底し、様々な運動に触れる機会を確保する。	８割の児童が体育の授業が楽しいと感じる授業を行う。											
	○児童の基礎体力の向上	学校独自の縄跳びや持久走への取り組みを通して、楽しみながら運動に取り組み、運動の日常化を図る。	全ての児童が、毎週１時間以上の運動に取り組むことを目指す。											
	○進んで体育に取り組もうとする意欲の育成	運動や健康についての自己課題を理解し、その解決に向けて思考判断する機会を設定する。	スポーツテストの意識調査において体育を好む児童の割合９割を目指す。											
共生社会の実現に向けた教育の推進	○ユニバーサルデザインの視点を取り入れた個に応じた指導の実施・充実	特別支援教室専門員・巡回指導・日本語指導員や日本語教室との連携	支援を受ける児童の情報を共有する場を毎月設け普段の指導に生かしていく。											
	○エンカレッジルームの活用促進	特別な配慮を要する児童には、エンカレッジルームを活用して、個に応じた適切な支援を行う。	エンカレッジルームを必要とする全ての児童に場を提供する。											
	○副籍交流、交流及び共同学習の実施・充実	鹿本学園との共同学習や児童同士の交流を通した体験的な学習を実施する。	児童の交流活動の年１回以上の実施											
不登校・いじめ対応の充実	いじめや不登校対策の実施・充実	毎週、生活指導夕会を行い、問題行動の早期発見・早期対応、事故等の未然防止に努める	保護者アンケートの「いじめの防止」に対する肯定的評価を80%以上とする。											
	L-gate毎日の記録の活用	毎日の記録を児童一人一人の支援に生かす。１学期末の個人面談時に保護者と共有し連携を図る。	個人面談時に保護者と共有し連携を図る。											
	教育相談の強化	SC及びSSWとの連携を図り、児童のケアに努め、すべての児童が安心して生活できるようにする	5学年全員面接を実施。職員間で共有した情報を基に教育相談につなげていく											
地域社会に開かれた学校（園）の実現	学校（園）ホームページの充実等	学習規律、生活規範に関する「７つの合い言葉」の取組状況をHPに掲載し保護者・地域と連携強化を図る	「７つの合い言葉」における達成率を全学年で5%向上させる。											
	学校（園）公開の実施・充実	年３回の土曜授業を実施する。親子参加型の道徳授業地区公開講座を行い教育活動への理解促進を図る。	「家庭地域との連携を深める取組」の肯定評価を85%以上とする。											
	教育活動の改善・充実に向けた学校関係者評価の実施	ネットを活用した学校関係者評価を実施し意見を募る。それらをもとに改善向けた方針をまとめる。	保護者アンケートの回収率を80%以上とする。											
特色ある教育の展開	１人１台端末を効果的に活用した学習習慣の確立	毎週金曜日の朝学習、毎日の家庭学習、日々の授業においてタブレットを活用し学習習慣を確立させる。	朝学習で前学年の復習を９月まで、当該学年の復習を行い３月までに終わらせる											
	体育的行事と体力向上を目指した運動の日常化	毎週の運動遊び、毎学期の長縄週間、年間2回の持久走会を実施する。外遊びの日常化を図る	「たくましい子を育てるための取組」の肯定評価を90%以上とする											
	陶芸・クロッキーに親しみ感性を育む	陶芸の授業やクロッキータイム及びクロッキー展を行い情操教育の充実を図る。	「豊かな感性を育むための活動」の肯定評価を95%以上とする。											